

チタン素材の特性を
多彩な分野で生かす

納期
相談

企画力
自信有

コスト
相談

オンリー
ワン技術

メイドイン
ジャパン

試作可
小ロット



飲料水加熱殺菌用のオールチタン製熱交換器

業務
内容
熱交換器から車いす、
自転車にも

チタン加工の専門家として、薄肉の溶接技術を基盤に、熱交換器をはじめ、消防用はしご、車いす、自転車フレームなどを開発・製造している。車いすの分野ではチタン製品を供給する唯一の国内メーカーで、自走式のユーザーの間で愛好されている。自転車フレームでもチタン製品を供給するのは同社を含む国内2社のみ。チタン製品の分野で高い知名度を持つ。

軽くて丈夫、さびにくく、人体に優しい材料とされるチタン。最近では主力の工業用途で、衛生管理が求められる食品や医療関連のプラント・装置向けに、チタン材による「サニタリーパイプ継手」をチタン業界挙げてPRしている。



自社で設計・製作する折りたたみ式車イス

強み
薄肉溶接の技、顧客への
設計・提案に力

チタンの薄肉材の溶接は、熟練者でないと、材料に穴があいたり、歪みが出たりする。経験15年の社員をはじめ溶接のベテラン4人の技をベースに、主力の熱交換器、車いす、自転車フレームなどを自社で設計し、マーケティング、製品開発、販路開拓に取り組む。熱交換器で自慢の薄肉コルゲートチューブは一般的なブレンチュートチューブと比べ2倍の熱効率を誇り、プラント・装置の省スペース、低コスト化に役立っている。

高付加価値のチタン材料で長年蓄積し

た知見を武器に、顧客に絶えず独自の提案を投げかけ、その提案力をテコに過度なコスト競争の波にさらされにくい。日本チタン協会の中心的会員として、会員各社との協業による企画や市場開発の実績も豊富だ。

海外
展開
日本感覚の
自転車海外へ

チタンの魅力を広める一環として、欧米市場に向けて日本感覚のデザインの自転車車設計・製作して事業化に挑んでいる。外部のデザイナー、同じ関西の中小企業と連携を組み、平成25年度に経済産業省のグローバル技術連携支援事業に採択された。斬新なフレームデザインのスポーツタイプ車「SAMURAI（サムライ）」を試作した。海外展示会に出展して反応を探りながら細部を改良。3年の助成期間内で製品化と、ビジネスモデルを整える。

今後の
展望
サニタリー分野などで
拡大狙う

チタン製の大型熱交換器で新市場を開拓するため、第1種圧力容器製造資格の取得をはじめ体制整備に力を入れている。サニタリー継手で日本チタン協会の業界規格が整ったのを受け、食品や医薬品産業の需要獲得を本格的に狙う。民生分野では、連携製品「SAMURAI」を自転車ファンが多いドイツの市場からまず投入し、初年度に50台の販売を目指す。

その一方で「メーカーの土台は製造の現場」として、チタン加工の品質管理と技能、ものづくりに関するプライドまで含めた伝承を図ろうと、社内の仕組みの整備を進めている。

COMPANY PROFILE

株式会社ティグ

大阪
26当社の
歴史

昭和54年の創業時からチタンの優れた特性で多彩な分野に貢献することを基本理念に、一貫してチタン加工に取り組んでいます。熱交換器など工業用から始め、10年後から、チタンによる車いす、消防用はしご、自転車フレームも製作しています。チタン普及活動として、平成25年には、衛生管理が重要な配管・継手で採用を促すため、業界規格づくりに積極的に働きました。

チタンの薄肉パイプ溶接をコア技術に産業品から
民生品まで、設計を含めてクリエイトできるのが強みです。

代表取締役社長 小澤 隆治さん



■主な事業内容

チタン製の熱交換器・
車いす・自転車フレーム・
消防用はしごなどの製造

■主な取引先（納入先）

エネルギー・環境関連メー
カー、食品機器メーカー、
医療機器メーカー、福祉
機器メーカー、消防自動車
メーカー、自転車ショップなど

住 所／〒578-0905
東大阪市川田
4-1-32

T E L／072-965-0598
F A X／072-965-1285

創 業／昭和54年3月

設 立／昭和59年3月

資本金／4,000万円

従業員／16名

<http://www.titanium-tig.com/>